

令和8年7月2日（木）

神奈川県立川崎北高等学校
令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

安井副校長

定刻となりましたので令和8年度第1回学校運営協議会をはじめさせていただきます。会に先立ちまして、本日出席の委員の皆様、委員の委嘱に係る辞令を交付します。

- 1 本校細川校長より、来校された学校運営協議会委員に辞令を交付した。
また、委員4名の出席と欠席委員の委任の申し出を確認し、本会の成立を確認した。

安井副校長

本会の令和7年度の会長である富士川様が少し遅れての出席のため、それまでの間、事務局として私が進行を務めます。よろしくお願いします。

○配付資料の確認

- ①神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱
- ②令和8年度学校案内
- ③令和8年度学校要覧
- ④令和9年度入学生用教育課程表（策定途中）
- ⑤令和8年度学校運営協議会開催日程（予定）

追加資料

- ・神奈川県立学校のコミュニティスクール

安井副校長

それでは、次第にしたがって進めます。

1. 川崎北高等学校校長あいさつ

令和7年4月に着任し2年目となった。850名を超える生徒数で、インクルーシブ教育実践推進校としての取組が進んでいる。現在は、校舎の耐震補強工事と歩道橋工事が終了し、体育館の耐震補強工事に入っている。その後には柔剣道場の工事を行なう予定である。学校行事や部活動等については地域の施設や近隣校にもご協力をいただきながら、様々な工夫をして活動している状況である。また、令和9年度入学生の教育課程の策定途中であり、学校の活性化を目指して学校運営を進めていきたいと考える。ぜひ、皆様の忌憚のないご意見を賜りたい。

安井副校長

続いて、本会の構成メンバーを確認します。委員の方から自己紹介形式でお願いします。

2. 構成メンバーの確認と自己紹介

◎運営協議会委員様

- 大島様 有馬町会長として3期目に入った。会長の任期は2年となる。平成9年には川崎

北高校のPTA会長を務めた経験もある。地域の代表として尽力できればと思っている。

○當間様 本校のPTA会長を務めている。今日は、日頃の教育活動についていくつか確認したいことを聞きたいと思っている。

○金澤様 令和8年度より運営協議会委員の立場となった。本学に御校の卒業生も在籍し、頑張っていることもあり、御校に尽力できたらよいと考えている。

○富士川様 同窓会副会長である。川崎北高校での教職の経験もある。現在は他のインクルーシブ教育実践推進校で支援員を務めている。学校現場の大変さやアピールすべき点を話しあったり、改善したりしながら、学校の頑張りを共有し、発信できるとよいと考えている。

○竹内様、藤岡様、我妻様の3名は、本日都合がつかず欠席の連絡あり

◎本校事務局の紹介

○安井副校長 昨年度は教頭として、今年度は副校長として学校をよくするためのエネルギーを発揮したいと考える。

○田口教頭 令和8年度4月に着任した。ようやく慣れてきたというところで、自分の中に「川崎北愛」を育てていきたいと考える。

○総括教諭6名（川島・長沢・源・川村・反町・齊藤）
在勤年数と所掌するグループの業務等について説明し自己紹介とした。

安井副校長

本日欠席の委員様からの協議内容の確認や質問事項については、予め送付した資料により、ご意見を賜っていることをご承知おきください。

3. 会長・副会長の選出

細川校長

協議会の会長を、令和7年度に引き続き、同窓会副会長の富士川様にお願いしたいと考える。副会長においても引き続き大島町会長にお願いしたいがいかがか。

会長については、富士川様が了承し、承認された。

副会長については、大島様が了承し、承認された。

学校運営協議会会長： 富士川 様 副会長： 大島 様 を選出した。

4. 協議事項

安井副校長および富士川会長の進行により次のとおり協議した。

協議事項① 学校運営協議会の運営について

資料①をもとに細川校長が説明し、確認した。

細川校長

本会は、本来10名まで委員を選出できる。あと2名依頼できる方がいればと思案している。「コミュニティースクールの手引」をもとに、授業研究部会や地域連携部会を設置してはいる

が、形式的な面を整えつつ実態に即した効果的な組織として本会の在り方を追求したいと考える。

協議事項② 令和7年度学校評価及び令和8年度学校目標等について

資料②「学校要覧」をもとに、学校目標・学校評価の視点1～5に沿って、主に所掌する総括教諭が、令和7年度の取組と令和8年度の課題・目標・改善方策等について報告した。

富士川会長（司会）

それでは、「学校要覧」を参考に、視点ごとに関係があるグループのリーダーより説明をお願いします。

○視点1 教育課程・学習指導について 川島総括教諭（教務開発GL）

令和7年度は教職員の授業力向上をねらいとする研究授業や研修を実施した。また、生徒の家庭学習の実情を把握するためのアンケートを実施した。また、生徒の学習活動の評価について、評価方法を見直したり、評価シートを改善したりすることができた。令和8年度は、「生徒による授業評価」の実施について、教職員個人の評価データを分析することや、ICT機器の活用の効果について生徒の実感を問う評価項目を設定し、分析したいと考える。

○視点②生徒指導・支援について 川村総括教諭（生活支援GL）・源総括教諭（活動支援GL）

昨年度は、交通安全に係る取組に力を入れたが、生徒の自転車通学のマナーについては近隣からの指摘が6件増えてしまった。各学期に2～3回の交通指導習慣を実施したり、年度初めには警察の方の講座を設定したりしながら、安全に関する注意喚起・啓発活動を行う予定であり、近隣からの指摘件数を減らせるように指導・支援したい。また、活発に活動する部活動では、この10年ほどで加入率が落ちてきている。施設や活動方法の安全面の点検や顧問・生徒間の良好な関係づくりを目標に「部活動総点検」の実施や、顧問数や活動場所の確保に向けての取組を進めている。令和8年度は、学校行事の活性化を図ることを目標とし、体育祭や文化祭での生徒の満足度を高められるよう指導・支援したいと考える。

○視点3 進路指導・支援について 齊藤総括教諭（進路支援GL）

本校では9割近くの生徒が上級学校への進学を希望している中、入学者選抜方法の多様化に備え、学習や行事、部活動での学びを進路実現につなげていけるように指導・支援しているところだ。志望理由書の添削や面接練習、プレゼンテーションの作成指導など、様々な入学者選抜の方法に対して対応できる支援方法の体系化を進めている。令和8年度では、3学年の1学期に進路分野別に探究活動を進められるようにしたり、業者のアプリを導入し、模擬試験の結果分析や進路活動の計画などを情報収集しやすくできるように工夫している。その成果を図る観点として、上級学校への現役合格率90%越えを一つの目標と考える。

○視点4 地域等との協働について 長沢総括教諭（連携総務GL）

例年のように地域の教育力を活用し、防災訓練・交通安全・自転車点検・教育相談といった場面で、様々な専門家の方々と連携しながら取り組んでいる。特に、昨年度は、2年生の修学旅行において現地の高校生と交流し、その土地の文化や歴史を学んだり、震災学習・防災学習を実施したりして、協働の範囲を拡大して実施した効果があると感じている。令和8年度入学者選抜では募集定員数に満たない選抜となった。学校説明会の参加人数が令和6年度の843人から令和7年度は799人と減り、体育館耐震補強工事や手狭なグラウンド状況などの影響が

あると分析している。部活動の加入率も4月時点で53%であることなどを踏まえ、令和8年度は地域の中中学生への情報発信を重要視している、インクルーシブの取組は継続的に進めることとし、1年間の目標としては、本校の教育活動の情報発信により学校説明会に参加する受検生の参加者数を増やす取組を考えたい。また、令和8年度4月時点で53%となった部活動加入率の向上を図りたいと考えている。

○視点5 学校管理・学校運営について 反町総括教諭（管理運営GL）

教職員の働き方改革の一環でもあるオフィス改善が進んだ。授業改善の取組と相まって、ICT機器の整備・活用にも取り組むことができた。校内の施設工事・修繕などの教育環境の整備を生徒の自己実現につなげていけるように考えたい。今年度は、時間短縮やペーパーレスの会議運用として、チャットを活用することで、協議から実行への即効性の向上をめざしたいと考える。

副校長

一とおりの説明を終えましたが、何か質問や意見があればお願いします。

當間PTA会長

現1年生が募集定員を割った状況や部活動加入率が下がっている状況については、数年前からの耐震工事による施設利用のむずかしさがあることもあり、仕方ないところだが、何か工夫されていることがあれば聞きたい。

細川校長

思うように校内施設を活用できないもどかしさがあるが、学校としても各部単位でも他校への合同練習や比較的素晴らしい施設をお借りして活動できている。保護者の方には、そうした施設利用についての負担はないが、そこまでの交通費のご負担をかけてしまっている。各部の顧問教諭もそれぞれの施設予約に熱心であり、工事期間が終了するまでは様々に工夫をしていくつもりである。

當間PTA会長

「学校目標」の文章の中には、インクルーシブな学校づくりという表現があるが、具体的にはどのような取組・推進をしているのかを教えてほしい。

長沢総括教諭

小学校・中学校のような支援級と通常級という形式ではなく、一般募集と特別募集で入学した生徒がインクルーシブ教育実践推進校としての全日制普通科高校の中で、同じ教室で同じ教員から同じ教科書・教材で共に学んでいくことが大前提となっている。そうした学校生活の中で、生徒間の相互理解学習の場が日常的に設定され、互いの考えや特性が理解されていくことや、それに応じた合理的な配慮について学んでいくスタイルである。そうしたことを踏まえて、2名学級担任制やティームティーチングの授業づくり、ユニバーサルデザインな授業づくり・学級づくりを推進しているところである。授業や学校行事、研修活動などを経験しながら、相互理解を意味づけていくよう指導・支援をしている。

當間PTA会長

インクルーシブについての取組についてだいぶ理解することができた。みんながわかる授業づ

くり、成長できる学校づくりが進むとよい。

大島自治会長

地域の方々との協働があることはよいことだ。また、有馬町のみでなく、川崎北高校に近い東有馬地区の方々にもこの協議会のメンバーになっていただけると、身近な課題や協働体験の場が増やせるかもしれないので今後検討できるとよい。

細川校長

様々なことが確認でき、今後学校運営の目標を実現するべく取り組んでいく予定だ。年度末にはそれぞれの取組について評価をいただく予定であるので、よろしくお願いいたします。

協議事項③ 新教育課程の編成について

川島総括教諭

資料④と学校案内の中の旧カリキュラム表を比較して説明する。生徒の実態を把握し、どのような学びを通じてどのような力をつけさせていくべきかを主点とし、新しい教育課程を検討しているところである。社会科目においては、科目の知識習得が段階的に進むように配すること、理科科目においては、基礎科目から応用科目へステップアップすること、国語科目においては、文章力と読解力を身につけられるようにすること、キャリアデザインについては、数学Aのところで選択できるようにすることなどを基本とし、骨子が完成するところである。学校設定教科として「総合型研究」という科目を設定することなども含め、なるべく早い段階から生徒自身の進路について考えていけるような科目配置にしたいと考える。

安井副校長

新教育課程については、確定次第ホームページに掲載し、夏季休業中の広報活動などで周知する予定です。

富士川会長（司会）

新たな教育課程について、質問や意見があればお願いします。

それでは、協議事項④本会の日程確認について説明をお願いします。

協議事項④ 今後の開催日程について

資料④をもとに、全4回の学校運営協議会の開催日程を次のとおり確認した。

安井副校長

資料④のように、4回の開催を考えている。次回は文化祭の公開日とし、生徒たちの頑張りを見ていただけるとありがたい。

第1回 7/2 本日

第2回 9/18 文化祭当日 午前に校内を見学していただき、ご意見等をいただく予定

第3回 11月 公開授業日

第4回 3月 年度末の学校評価に係る協議の予定 と確認した。

④その他

特になし

5. 事務連絡

細川校長

校内の工事期間が続くが、本日確認した学校運営の目標実現に向けて取組を進めていく。今後
も本校に足を運んでいただき、忌憚のないご意見を頂けたら幸いである。

富士川会長

以上をもって、令和8年度第1回学校運営協議会を閉会する。